第４回鳥取市市政改革推進市民委員会　議事概要

日　時：令和８年 11 月２日（月）　10 時 00 分から 11 時 15 分
会　場：鳥取市役所　本庁舎７階　第２委員会室
出席者：≪委員≫９名出席
山下 博樹　委員長、谷口 明洋　副委員長、磯野 誠　委員、大橋　良輔　委員、
古賀 真美　委員、大橋 良輔　委員、小柴 正子　委員、須田 里加　委員、
山根 恭平　委員
≪事務局≫
宮崎課長、加藤参事、若田主幹、山﨑主任

会議内容

１．開会

２．あいさつ

山下委員長：

二次評価の作業について感謝申し上げる。本日は各委員の二次評価について共有することとなる。忌憚のないご意見を賜りたい。

３．議事

（１）市政改革プラン二次評価について

事務局

（資料１、２を説明）

山下委員長：

二次評価を終えての感想や意見を各委員に順に伺う。

Ａ委員：

計画を何度か読み返したり、いただいた回答を読んでみたりしたが難解であると感じた。ヒアリングで聞いてみたい。

また、二次評価の回答方法について、データで提出であったが、書面で記入・提出する方法があれば希望する。

事務局：

ご意見を踏まえ、次回以降の提出方法を検討したい。現段階では、紙でご提出いただくことも可能ではないかと考えている。

Ｂ委員：

前回でも感じたところではあるが、各事業によって具体性の濃淡があるのが気になった。また、重要性は理解できるが、「まだ今年も継続的に行っているのか。」と感じる事業もあった。新規性がある事業などが増えれば、よりイメージがわきやすいと感じた。

Ｃ委員：

計画や担当課自己評価の内容を十分に理解できず、判断に迷った。取組の状況や、成果やポイントもわかりにくいと感じ、その状況で二次評価を行い自分の評価が妥当なものなのかどうか、ということを感じながら作業を行った。もう少し市民にわかりやすく示してほしい。

D委員：

計画数を絞ったということだがそれでも数が多く、雑多なものもあり評価するにしてもなんとも言い難いという風に感じた。また、我々が微細に評価することが妥当なのかどうかということや、逆に効率や職員のモチベーションを下げることになっていないかという不安を感じた。

さらに、例えば病院の経営について、市民の立場でこの委員会で評価することが妥当かどうか、一方で、備品の管理について我々が意見すべきことなのかどうか、等、評価者の妥当性について問題があると感じた。

E委員：

今のご指摘は委員会の本質の部分であるため、委員会の目的や委員に期待していることなどを一度共有したほうがよいと思う。

事務局：

市民委員会は、各委員がそれぞれの立場・知見を活かしてご意見をいただくことを目的に設置されている。

病院の事業について、病院の組織内に評価する仕組みが既に存在するが、市民が意見を述べる機会は持ち合わせていない。この委員会の場で、課題を共有し、市民目線からの意見をいただくことに意義があると考えている。

一方で、備品管理のような内部的なものは、担当課と相談しながら整理・検討していく。

この委員会には様々な分野からご参加いただいている。それぞれの立場からの意見を賜り、業務に活かしたいと考えている。

E委員：

二次評価のみで終わらずに、委員会には民間のさまざまな分野で活躍する方々が参加しているので、その知見を活かし、行政の従来の仕事の進め方に対して、民間の立場から提案や改善点を指摘するということに取り組んでいる。二次評価は一つの大きな仕事であるが、その後のヒアリングで委員の経験を含めた意見交換をすることに意義があると考えている。

F委員：

金融の分野からの視点で評価した。皆さんが言っておられるように、計画の中身に関して評価するというのは難しいと感じる。

それぞれの部署が一生懸命取り組んでいると伝わってくるのでその点は評価できるし、相手のある分野に関しては、時間がかかってしまうというのも理解できる。一方で、部署ごとに温度差があると感じている。我々が意見をすることで、スピードアップしたりより良い方向に進んでいくことを期待している。

G委員：

今回の二次評価は全て「妥当である」とした。全てについて100％達成ということでは

なく、できる部分から改善していくことが必要であると考えている。仕事の持ち帰りや休日対応など、特定の人に業務が集中する問題は依然として課題である。業務の適切な分散・割り振りに引き続き取り組んでほしい。

我々もＤＸ推進による業務軽減は求めているが、情報漏えいリスクは紙・デジタル問わず存在するため、組織としての危機管理をしっかりとしていく必要がある。

水道の経年劣化による値上げは理解できるが、毎日使うものであり市民は価格上昇に敏感である。税金が市民のために使われているという実感があれば反発が和らぐ可能性がある。物ごとを多角的に捉えて、施策を推進してほしい。

計画の内容を全て理解することが難しく、もう少し勉強をしないといけないと反省している。

H委員：

評価したことによって、何がどのように変わっていくのか、何かの役に立つのか、ということを考えながら評価した。評価したことにより、今後の計画を進めていくにあたり、何か変わることがあればよいと感じた。

Ｉ委員：

言葉の意味を調べたり、考えをまとめたりとかなり時間がかかった。評価には責任が伴うが、時間を割いて評価をして、それに対して対価がいただけるという点は感謝している。二次評価をするという責任やプレッシャーもあったが、行政を身近に感じることができたので大変良い機会であった。任期が２年と言うことなので、再任が可能であればより理解が深まると思う。

計画数が多いので、例えばチームを作って 10 個ずつ評価するというような方法も考えられるのではないか。

Ｅ委員：

５年間の計画の最初の二次評価ということで、時間をかけて評価をしたが、前回の市政改革プランよりも計画数が少なくなったが練られていない、という印象を受けた。二次評価のコメントにも記載したが、通常業務で取り組むべきで市政改革プランに掲載するものではないのではないかと感じるものがたくさんあった。また、計画自体も戦略的でなく、漠然としたものもあった。計画途中での改善や見直しのステップが、内部ではあるのかもしれないが、記載がないと我々には分からないので、その点で残念に感じた。今後のヒアリングの機会で、皆さんから意見が出てくるとよいと感じた。

この市民委員会は、市民の立場で担当課がやっていることの妥当性を判断する、というのが役割。皆さんの経験や知見を活かして意見を述べるということを、皆さんに十分に伝えきれていなかったことについて反省している。

（２）市政改革プランのヒアリングについて

事務局：

（資料３、４を説明）

山下委員長：

説明にあったとおり、８計画ほど選定をする。各委員２つずつヒアリングを希望する計

画を順番に伺う。

Ａ委員：

「22110　地域運営組織との連携」を希望する。わからないという評価が多く、具体的な内容を聞きたい。

もう一つは、「51120　行政経営システムの導入」を希望する。連携をして何がどうなったか、資料を見ても不明であるためヒアリングをお願いしたい。

Ｂ委員：

「51120　行政経営システムの導入」を希望する。企画・財政・人事は組織の基本的な機能であり、明確にしておきたい。

もう一つは、「41210　ICT ツールを活用した業務の効率化」を希望する。業務の効率化ということであろうと思うが、内容が少し遅れているという印象を受けるため。最近ではサイバーセキュリティー、AX などの話もあるため具体的な内容を伺いたい

Ｃ委員：

「42110　公共施設の再生可能エネルギーの活用」を希望する。わからないと評価したが、もう少しわかりやすく、何のためにやっているのかという点を教えてほしい。

もう一つは「42130　森林由来Ｊクレジットの創出・活用の検討」を希望する。こちらについても、どのような意図で進めているのかという部分を聞きたい。

Ｄ委員：

「11110　職員の施策立案・事務能力の向上」を希望する。事前に質問もしており、関心がある。

もう一つは「53130　病院事業の経営健全化」を希望する。詳細について伺いたい。

Ｅ委員：

「12120　業務の効率化・簡素化の推進」を希望する。削減数が目標値となっており、進め方について疑義があり、聞いてみたい。

もう一つは「12140　テレワークの推進」を希望する。計画が思うように進んでいないため、その理由などについて話を聞きたい。

Ｆ委員：

「52160　ふるさと納税の推進」を希望する。鳥取市の納涼花火大会について、ふるさと納税で寄附を募るとよいのではないかと考える。また、幅広くふるさと納税を推進してほしいという思いがある。

Ｇ委員：

「12130　適切な労務管理による時間外勤務削減」を希望する。労働組合の代表として伺いたい。

もう一つは「21120　公民連携デスク活用の推進」を希望する。

Ｈ委員：

「12120　業務の効率化・簡素化の推進」

「31120　公共施設譲渡の推進　市有財産譲渡の推進」を希望する。

Ｉ委員：

「22120　地域学校協働活動の推進」を希望する。学校関係や地域関係の計画であり、関

心がある。
もう一つは「31110　再配置基本計画に沿った施設のあり方検討の推進」を希望する。子育てに関係する施設についての計画であるため聞いてみたい。

Ｅ委員：

今決めた方がよいか。あるいは、事務局で調整していただいてもよいと思う。

事務局：

二人以上の委員が希望した計画はヒアリング対象とし、他については最低でも希望した計画が１つ以上ヒアリング対象となるように事務局で調整したいと思うがいかがか。

Ｅ委員：

この場で調整は難しいので、事務局に一任するということでよいか。

（異議なし）

４．その他

事務局：

・第５回市民委員会は 11 月下旬～12 月上旬で調整中。

・ヒアリング前に事前に質問等を伺う予定としている。質問票の提出について、別途依頼する。

・会議の開催方法について、天候によってはオンライン形式となることを想定している。対応が難しい場合は教えてほしい。

４．閉会